

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境								3.1
1 音環境		2.1	0.15					2.1
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		1.8	0.40					
1 開口部遮音性能		1.0	0.60					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		1.0	0.20					
2 温熱環境		2.6	0.35					2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温		3.0	0.38					
2 外皮性能		3.0	0.25					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		3.5	0.25					3.5
3.1 昼光利用		4.2	0.30					
1 昼光率	昼光率2.58%	5.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		3.0	0.30					
1 昼光制御		3.0	1.00					
3.3 照度	全般照明方式:水平面照度600lx	4.0	0.15					
3.4 照明制御		3.0	0.25					
4 空気質環境		4.3	0.25					4.3
4.1 発生源対策		4.0	0.50					
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用	4.0	1.00					
4.2 換気		4.3	0.30					
1 換気量	基準で定める1.4倍の換気量を確保	5.0	0.33					
2 自然換気性能	居室床面積の1/15以上の自然換気有効開口面積を確保	3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		5.0	0.20					
4.3 運用管理		-						
1 CO ₂ の監視		5.0	1.00					
2 喫煙の制御	全館禁煙にて喫煙所は建物内部に設置しない							
Q2 サービス性能			0.30					2.8
1 機能性		2.2	0.40					2.2
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.40					
1 広さ・収納性		1.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33					
3 バリアフリー計画		1.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30					
1 広さ感・景観	天井高2.7m	4.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上	4.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30					3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.8	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	断熱サンドイッチパネル(スチールパネル塗装品)	5.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:VP(B)、汚水排水VP(B)、冷媒管CUP(C)、Eは不使用	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.6	0.20	[Cross-hatch pattern]	-	3.2		
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-			
	3	電気設備		2.0	0.20		-			
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-			
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-			
	5	通信・情報設備		2.0	0.20		-			
3 対応性・更新性				3.2	0.30		-	3.2		
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり		3.4	0.30	[Cross-hatch pattern]	-			
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.161	3.0	0.60		-			
	2	空間の形状・自由さ		4.0	0.40		-			
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30		-			
3.3 設備の更新性				3.4	0.40		-			
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	[Cross-hatch pattern]	-			
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-			
	3	電気配線の更新性	直天井部にケーブルラックを採用し、保護配管による配線としている	5.0	0.10		-			
	4	通信配線の更新性	直天井部にケーブルラックを採用し、保護配管による配線としている	5.0	0.10		-			
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.39		-	2.7		
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30		-	2.0		
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40		-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30		-	3.0		
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-			
	3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-			
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-		-	3.4		
LR1 エネルギー				-	0.40		-	3.5		
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m =0.700	4.0	0.02	[Cross-hatch pattern]	-	4.0		
2 自然エネルギー利用				3.0	0.12			3.0		
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.78 住宅(専有部) -	4.0	0.61		-	4.0		
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI _m =0.780、LED照明設備を採用	4.0	1.00		-			
	集合住宅の評価(3c)			[Cross-hatch pattern]	-		-			
4 効率的運用				2.5	0.24	[Cross-hatch pattern]	-	2.5		
	集合住宅以外の評価			2.5	1.00			-		
	4.1	モニタリング		3.0	0.50			-		
	4.2	運用管理体制		2.0	0.50			-		
	集合住宅の評価			[Cross-hatch pattern]	-			-		
	4.1	モニタリング		[Cross-hatch pattern]	-			-		
	4.2	運用管理体制		[Cross-hatch pattern]	-		-			
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	3.2		
1 水資源保護				3.4	0.20	[Cross-hatch pattern]	-	3.4		
1.1 節水			自動混合水栓に加えて省水型機器(自動洗浄小便器・擬音装置)を採用	4.0	0.40			-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60			-		
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			-		
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.60			-	3.3	
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	[Cross-hatch pattern]	-			
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22		-			
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22		-			
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床材:床、ボード:天井	4.0	0.22		-			
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-		-			
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用	4.0	0.22		-			
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20		-	3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	[Cross-hatch pattern]	-			
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70					
	1	消火剤		-	-		-			
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-			
	3	冷媒		3.0	0.50		-			
	3	冷媒		3.0	0.50		-			
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	3.4		
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率=84%	3.6	0.33	[Cross-hatch pattern]	-	3.6		
2 地域環境への配慮				3.5	0.33			-	3.5	
	2.1 大気汚染防止		燃焼機器の使用なし	5.0	0.25			-		
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			-		
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25			-		
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			-		
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-			
	3	交通負荷抑制	駐輪場(バイクを含む)及び駐車場を確保し車両出入り口をOUT・IN専用になっている	4.0	0.25		-			
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-			
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33		-	3.2		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	[Cross-hatch pattern]	-			
	1	騒音		3.0	1.00					
	2	振動		-	-		-			
	3	悪臭		-	-		-			
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40				-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70				-	
	2	砂塵の抑制		[Cross-hatch pattern]	-		-			
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-			
3.3 光害の抑制				4.4	0.20		-			
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たしている。広告物照明を行っていない	5.0	0.70		-			
	2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-			